

## 特定非営利活動法人パートナーシップなとり

# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

### 令和4年度のまとめ

令和4年度は、指定管理者として指名された名取市市民活動支援センター(以下なとセンという)の管理運営を中心に業務を進めた。平成27年度から受託し、平成29年度から指定管理者として行っているなとセンの管理運營業務は、改めて令和2年度から令和6年度まで5年間の指定管理者として当法人が指名され、「指定管理者」としての契約を締結し、3年目のなとセンの管理運営を継続することができた。また、平成29年度から行っていたイオンモール名取への協力事業であるイオンホール・あおばひろばの活用の取り組みは令和4年2月で終了し、令和4年は使用しなかったが、センター事業では引き続き活用することでイオンモール名取の承諾を得ており、令和5年はフォーラムを行う予定である。

“なとセンわくわくフェスタ”は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2年続きで中止になったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止方法についての講演会を行った。法人のHPでもにわくわくフェスタのこれまでの様子や、協賛・協力企業の紹介、実行委員会の団体の紹介を公開した。また、イオンモール名取のあおばひろばとなとらじで市民活動のPRを行った。

スタッフは、令和3年6月に採用したが一度も出勤せず辞退となったが、8月に1名、11月に1名採用し6名体制になった。

## I 事業に関する事項

法人事業として(下記の中へ)

### 1. 情報収集及び提供事業

#### (1) インターネットを活用した情報発信

パートナーシップなとりの認知度向上及び市民活動団体の情報を発信するため、平成26年3月に立ち上げたホームページを今年度も適宜更新し講座や交流会等の案内及び報告を行った。

#### (2) 名取の市民活動情報冊子のWEB上での更新

「名取で輝く市民活動団体一覧」を平成30年8月からWEB上で公開している内容に関して、最新情報をネット上で閲覧できるようにするために、新規登録団体の追加や登録事項の変更に対応し適切運営した。

#### (3) 市民活動活性化事業

なとセン及び市民活動の周知促進と活性化を図り、市民活動団体の広報力の向上に寄与することを目的として、秋まつりに出展した。なお、春まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、イオンモール名取のあおばひろばの活用は令和3年2月で終了している。

### 2. 多様な団体との交流・連携の促進事業

#### (1) 地域市民活動団体同士の地域連携交流会の開催

## (2) イオンモール名取「ハピネスモール」への協力

令和4年度は、などセンの事業として実施していたイオンモール名取との各種連携事業（イオンモールあおぼひろば利活用）は行わなかった。（5-（1）11）参照）

## (3) などセンのPRと市民活動の啓発

名取市で主催する春まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となったが、秋まつりには出展し、市民活動の啓発を行った。

## (4) 名取市市民活動支援センターへの事業協力、共催事業の実施。

業務としては受託業務の範囲ではあるが、当法人の活動として他法人との調整などを行った。

① 専門相談会への協力：11回企画した専門相談会のうち5回の専門相談会に対して、当法人理事のみやぎNPOプラザ館長を相談員として派遣し多様な相談に対応した。

② 市民活動講座への協力：7月、11月、12月、2月開催と、計4回行った市民活動講座の実施にあたり、当法人理事や外部講師等を紹介した。

③ 情報交換会への参加：7月30日、8月27日、9月17日に行った夜会「ヨルニカタル」や12月3日の協働提案事業について、3月2日の企業との情報交換会の計5回の情報交換会を実施した。3月に行った「第7回市民活動団体と企業の情報交換会」は今回は対面開催とし、昨年と同じ講師によるコーディネートを受け市民活動団体と企業との連携・協働する必要性や本音を企業から聞き、新しい関係構築の可能性を学んだ。

④ 市民活動フォーラムへの参加

10月16日に「好きな名取と生きていく～NPOの可能性～」をテーマに名取市市民活動支援センターを会場に実施されたフォーラムに参加した。（5-（1）-7）参照）

## 3.市民活動団体等に対する支援事業

### (1) 市民活動講座の実施

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から市民活動講座を行うことができなかった。

### (2) 地域市民活動団体同士の地域連携交流会の実施

平成27年以来8回目となる、などセンわくわくフェスタは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から通常のカンファレンスは断念し、新型コロナウイルス感染症防止方策について学ぶ講演会を実施した。また、過去のわくわくフェスタの様子を写した写真や実行委員会参加団体、並びに協賛・協力企業の紹介ページなどの特設HPを作成し11/5から12/28まで公開した。

### (3) などセンコピーサービス事業

令和3年から当法人で行うこととなった、などセンに設置してある印刷機・コピー機のサービスを継続した。

## 4.調査研究および資料等の発行事業

今期は尚絅学院大学との共同研究を行うことはできなかった。

## 5.などセン管理運営業務

## (1) 令和4年度名取市市民活動支援センター管理運営業務の指定管理者としての実施

名取市と令和2年2月1日に締結した令和2年度名取市市民活動支援センター管理運営に関する基本協定書第9条に基づき、令和4年3月に指定管理者として締結した年度協定書「令和4年度名取市市民活動支援センターの管理運営に関する年度協定書」に基づき、名取市市民活動支援センターの管理運営を指定管理者として実施した。実施した管理運営業務は以下のとおりである。

### ① 名取市市民活動支援センターの管理

貸室、貸事務室、コピー機・印刷機、その他の管理を行った。

### ② 市民活動支援センターの運営

#### 1) 市民活動への情報提供

- ・情報収集と情報揭示を行った。
- ・名取駅東西通路において市民活動団体紹介パネル展をなとセンの事業として5/1から5/30まで行った。
- ・イオンモール名取で8/20から9/1までパネル展をなとセンの事業として行った。
- ・なとセンHPでWeb版の市民活動展を実施した

#### 2) なとセンだよりの作成

- ・なとセンだよりを43号から48号まで発行した。

#### 3) 相談業務

窓口で9件の相談を受けた

#### 4) 市民活動団体向けの専門相談会開催

専門相談会を13回企画し5回開催。10名に対応。相談内容は設立運営、IT関係など多岐にわたった。NPO法人や一般社団法人の代表者などの専門的な知識と経験のある方々に相談員を依頼し、多様な相談に対応した。

#### 5) 名取市市民活動支援センター市民活動講座の実施

外部講師を招き、7月2日、11月12日、12月18日、2月18日の4回の講座を開催した。組織運営・まちづくりアドバイザーによる組織力基盤強化の内容とした。

#### 6) 情報交換会の開催

「～市民活動情報交換会～」として、7月30日、8月27日、9月17日には夜会「ヨルニカタル」を実施した。12月3日には協働提案事業について、3月2日には企業との情報交換会を行った。年間では計5回の情報交換会を実施したことになる。3月に行った「第7回市民活動団体と企業の情報交換会」は今回は対面開催とし、昨年と同じ講師によるコーディネートを受け市民活動団体と企業との連携・協働する必要性や本音を企業から聞き、新しい関係構築の可能性を学んだ。

7回目となる企業との情報交換会では、まちづくり・NPOアドバイザーの遠藤智栄氏に講師・ファシリテーターを依頼。企業と市民活動の連携に関する基本を学び、更に企業からは連携についての本音を聞き、活動目的の共有などの関係構築から始めることが重要と改めて確認。名取市、市民活動団体10団体の他、4企業4名と多くの方々に参加して頂いた。参加企業はみやぎ生活協同組合、ニコン仙台工場、ウエルシア薬局、名取市商工会で、企業の本音を知る貴重な機会となった。

## 7) 市民活動フォーラムの開催

名取市では、文化継承、福祉、コミュニティ、子どもたちを取り巻く環境など多くの課題に向き合い、市民に寄り添いながら解決に取り組むNPO法人や任意の非営利団体が多く活動している。R2年2月から新型コロナウイルス感染拡大による影響が長期化し、沢山の人の共感を得て活動を展開させる為のイベントなどが出来ない状況が続いていたが、令和4年度は名取市市民活動支援センターでフォーラムを実施することができた。

### 【フォーラム概要】

#### 目 的

新型コロナウイルスの感染拡大、海外での開戦の影響で物価が上昇し日本社会全体が困難に直面する中で、女性やこどもの置かれている状況は、さらに深刻化した。

名取市が目指す、愛されるふるさと なとりでは、協働による持続可能なまちを未来へつなぎたいとしている。望む名取市の実現に向けて市民活動の視点から、性別や年齢、様々な状況・立場にかかわらず、安心して毎日を送ることができる社会を目指すための課題提起とし、市民活動で協働にチャレンジするきっかけづくりを目的として開催する。

表 題 第8回市民活動フォーラム 「好きな名取と生きていく」

副 題 ～NPO活動の可能性～

開催日時 10月16日（日）13：00～16：00

会 場 名取市市民活動支援センター 2階

### 【プログラム】

■開 始 13：00

■主催者あいさつ 13：00～13：05 名取市長

■基調講演 13：05～14：00（55分）

「ひとりじゃないよ、つながろう！～ここで暮らすあなただからできること」

講師 門間尚子 氏（特定非営利活動法人 mia forza ミア フォルツァ）

■パネルディスカッション 14：10～15：40（1時間30分）

○ コーディネーター 大泉大介 氏

（河北新報社 編集局報道部経済担当部長兼コンテンツセンター担当部長）

○ アドバイザー 門間尚子 氏（特定非営利活動法人 mia forza ミア フォルツァ 代表）

○ テーマ 「つながる チカラ」

住みたい、住み続けたいまちとは？を考えると、性別・年齢を問わず活躍できる社会でありたい。今回は、基調講演を基に誰もが安心して個々の幸せを追求し実現できる社会づくりに大切な繋がりは何かを考える。市民活動（NPO）とは、つながりを広げ一人一人の参加と協力によって健全な社会構築を可能にできる活動。

○パネリスト

・三浦隆弘さん 公財）みやぎ環境とくらしネットワーク理事、せり農家さん

・寺島雅子さん 造形クラブスペラ屋根裏らぼらとりい代表、RAI ママネット、名取市放送部、ワッシュョイ！DEN×3

・木村ひろ子 市民活動支援センター マネージャー

■質疑応答 15：40～16：00

■閉会あいさつ 16:00 阿留多伎 真人 特定非営利活動法人パートナーシップなとり代表  
成果

・背景：長引くコロナウイルス感染症やロシアとウクライナの開戦の影響を受けて日本の社会においても女性やこどもの置かれている状況がさらに深刻化している。女性とこどもが直面している貧困や多くの社会課題の解決をどのように目指すか。

・趣旨：誰もが安心して個々の幸せを追求し実現できる社会づくりに寄与することを目的とする NPO 法人 mia forza の代表から、実際の現状をお話いただき、名取市における課題解決に向けた支援政策の一助になることを目的に実施したいと考えた。

・準備：講師の日程調整を6月に打診。パネルディスカッションコーディネーター・パネリストにも登壇依頼。チラシを作成し郵送。登録団体への周知・参加を促した。

・内容：支援センターを会場に基調講演、テーマを設けディスカッションし繋がる大切さについて理解を深めた。

・協力依頼：当日支援センター窓口業務シルバー人材センター1名（館運営業務2名を確保）

#### 8) 市民活動団体紹介冊子作成事業

令和2年3月に作成した冊子を希望者に配布した。

#### 9) ホームページ・ブログ・みやぎ NPO ナビ名取版の運営

適宜更新をした。

#### 10) 団体情報管理

令和4年度の登録は、新規登録1団体（任意団体は、0団体）。登録解除が0団体。NPO法人0団体 結果として登録団体が1団体増加した。  
令和5年3月31日現在、113団体となった。

#### 11) イオンモール名取との連携事業

イオンホールとあおばひろばを「ハピネスモール」をテーマとする活用については令和4年2月をもって仲介業務を終了した。引き続き支援センター事業での利用は継続となっている。

#### 12) 市民活動活性化事業「なとらじレギュラー出演」

市民活動や市民活動支援センターの周知促進と活性化を行うことで市民活動団体の広報力の向上に寄与することを目的として、実施した。平成31年2月より毎週月曜日（14:30～14:40）のなとらじレギュラー枠にて団体メンバーまたは、支援センタースタッフが出演し、なとセン登録団体の活動紹介やイベント告知などを行った第1週は「支援センターの取り組み紹介」、第2・3週「登録団体の活動紹介」、第4週「なとらじで市民活動（3か月連続出演）登録団体」、第5週なとセンのマスコットキャラクターエヌポによる「ラジオで広がる市民活動 エヌポの部屋」として、出演団体のPRと市民活動のPRを図った。

今年度も昨年度に引き続き、コロナ感染症拡大防止対策等の観点から電話出演が主体となった。市民活動団体が不得意とする広報（情報発信）の支援として取組んだFMラジオへの出演であり、毎週月曜日の放送出演団体が令和4年度は51団体であった。

#### 13) なとセン利用者サービス向上への取り組み

・提案箱平成31年2月から、利用者の声を聴くために1階の情報交流室に「提案箱」を置き、自由に投稿できるようにしている。

- ・利用者アンケート

平成31年2月に開始した会議室や印刷機の利用者にアンケート調査を令和4年度も行った。

- ・貸室利用者懇談会

令和4年12月8日に貸室利用者の懇談会を行い、3年経過後の退室・継続時のルールと1か月前倒しでの募集方法について説明を行うとともに、名取市市民活動支援センターの管理運営についての意見や要望を聴取していたが。令和4年度は、貸事務室利用団体13団体中、7団体が参加し良好な意見交換が行われた。

#### 14) その他

- ・名取市市民活動支援センター定例月次報告会

毎月の定例月次報告会を行い、発注者である名取市担当部局との意思疎通、情報共有を図った。(開催日：4月28日(月)、5月26日(木)、6月30日(木)、7月25日(月)、9月2日(月)、9月30日(金)、10月24日(月)、12月2日(金)、12月26日(月)、2月10日(金)、3月3日(金)、3月27日(月) 合計12回)

- ・モニタリング

令和4年度の管理運営について、令和5年2月10日に名取市のモニタリングの実地調査を受けた。今後、3月末付で名取市から正式に文書でモニタリング票を作成の依頼を受けた。(提出期限は5月)

### (2) 新型コロナウイルス感染防止対策について

① 令和4年度は一部閉館を実施せずに管理運営を行うことができた。

② 感染防止対策の実施

- ・前年度から継続的に対応。宮城県からの注意喚起情報掲出、手指消毒のアルコール設置継続(別棟を含む)を継続した。
- ・貸会議室利用再開につき利用団体へ基本事項実施依頼(マスク着用、手指消毒実施、2m人との間隔を空ける、1時間に1回程度換気の実施)を周知徹底した。
- ・貸室使用後の机、椅子、エアコンスイッチ、ドアノブなどの消毒のほか、定期的に共用部分の消毒を行った。
  - ・コロナ感染防止対策として昨年、正面出入り口に設置したサーマルカメラ付き検温・消毒ボードを継続して活用した。

### (3) 地震時の対応について

令和4年度は震度4を超える地震は7/6に1回だけ発生した。震度5を超える地震は発生しなかった。

### (4) 指定緊急避難場所について

令和3年3月5日に締結した「災害時における一時避難施設としての使用に関する覚書」に基づいて、災害時(洪水時のみ)における一時避難施設として、名取市市民活動支援センター災害用倉庫に随時、非常用物品が搬入された。

## Ⅱ 組織運営に関する事項

### 1.理事会の開催

理事会を月1回のペースで合計12回開催し、事業の執行及び組織の運営に当たった。

第92回	4月23日	(土)	19:00~21:00	市民活動支援センター	会議室	中
第93回	5月21日	(土)	19:00~21:00	市民活動支援センター	会議室	中
第94回	6月24日	(金)	19:00~21:00	市民活動支援センター	会議室	大
第95回	7月23日	(土)	14:00~16:00	市民活動支援センター	会議室	中
第96回	8月21日	(日)	14:00~17:00	市民活動支援センター	会議室	中
第97回	9月18日	(日)	14:00~17:00	市民活動支援センター	会議室	中
第98回	10月23日	(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター	会議室	小
第99回	11月27日	(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター	会議室	中
第100回	12月25日	(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター	会議室	中
第101回	1月22日	(日)	10:00~13:00	市民活動支援センター	会議室	中
第102回	2月19日	(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター	会議室	中
第103回	3月19日	(日)	10:00~13:00	市民活動支援センター	会議室	中

### 2.団体の広報

当法人は独自ドメインを取得し、平成26年3月23日にホームページをさくらインターネット(株)のレンタルサーバーを使用してホームページを開設しており、令和4年度もそのホームページを維持した。URLは<https://ps-natori.org> である。

### 3.会員

正会員：個人 11名  
          団体 1団体  
賛助会員：団体 1団体

### 4.職員の採用と人事管理

- ・昨年度にママインターナシツプ事業へ受け入れ組織として登録し応募者に対してインターンを実施し、令和4年2月19日に採用試験を実施して採用とした人材について、採用日は令和4年5月1日採用としたが、当日出勤せず、不採用とすることとした。
- ・令和4年3月31日付でスタッフが1名退職したため、4名体制となったため職員募集を継続することとした。
- ・令和4年6月19日に採用試験を実施し、採用としたが採用日決定の前に辞退の連絡があった。
- ・令和4年7月23日に採用試験を実施し1名採用し8月1日辞令交付し、5名体制となった。
- ・令和4年7月31日に採用試験を実施し1名採用し11月1日辞令交付し、6名体制となった。
- ・スタッフの中から新型コロナウイルス感染症の感染者が平成22年12月に1名、濃厚接触者が3月に1名発生したため、特別休暇で対応したが、スタッフ間の協力とシフト調整により利用者サービスの質を下げることなく通常の運営を継続することができた。

### 5.職員の研修

職員のスキルアップのため、19回の講座・講習会等の研修にのべ20人を派遣した。

### 6.事務局通信の発行

「伝書ぱと」第10号、第11号を発行し、会員に送付した。